

石川遼のT字センターにヒントがあった



石川遼の
パター
4変化

2010年ダイヤモンド
カップで使用

オデッセイ
ホワイトアイスIX #5
センターシャフト

定期的
に使用していた
センターシャフト

プロ転向前の07年後半から08年にかけて使用。その後も時々使用している

「遼くんがパターを変えたのは“新車効果”を狙ったのではないのでしょうか」

マーク金井

新車に買い換えた時に感じる、圧倒的な性能の向上感と同じものを期待したのではないか。道具を変えてフィーリングをがらりと変えることで、いい結果が出ることはよくあるから

「奥さんを変えるのはよくないけれどパターは2、3本あるといいですね(笑)」

合田 洋

いろいろなパターを打つと、エースのよさがわかり、エースをよりうまく打つ方法もわかる。センターシャフトにしたのは、打点に対しての鋭敏さを求めていることだと思う

つまり、遼くんが言っているのは、試合で使うなら「L字マレット」のほうが安心感があるが、それに慣れると、芯で打つ感覚が鈍るので、時々「センターシャフト」に戻して、ストロークの緩みを調整

がかわってしまふのだ。スヒット時のフェースの向きのブレは少ない。センターシャフトは、ヘッドの重心がシャフトの延長線上にあり、シャフトを中心にヘッドがくるくる回転しやすいので、芯を外すとすぐにフェースの向きが変わってしまうのだ。

石川遼のエースパターが「L字マレット」というイメージは、かなり定着している。昨年は、それによって、巷で「L字」がブチ「復権」したほど。それが、マスターズ直後の国内開幕戦で、突然、T字のセンターシャフトパターに変更。もつとも、遼くんは、実は年に2、3回、センターシャフトのパターを使うことがある。L字マレットがエースであることは間違いないが、それ以外のパターとの間を行ったり来たり。これって、何

かメリットがあるのか!?

本人の弁によると、「L字は「鈍感」なので、自分で鈍感になりすぎたなど感じたなら、「敏感」なセンターシャフトを使って、感覚を

エースパター +1本が いつでも好調の パットをつくる!

今季開幕戦、東建ホームメイットカップでは、石川遼がパターを替えたことが話題になった。それまで使っていたL字マレットと新しく持ったセンターシャフト。エースとまったく形状の違うパターを使う意図はなんなのかを探ってみた!

調整している」のだという。ここで言う、「鈍感」、「敏感」というのは、芯を外した時の感覚のことを指している。一般的に、L字は「難しくて繊細」、センターシャフトは「芯に当てやすくやさしい」と思われているかもしれないが、実際はL字のほうが、ミ



2012年東建ホームメイト
カップで使用

ヨネックス ヨネックスパター

T字センターシャフトで
気分転換をはかった様子

打点のブレに対してシビアなものを
使うことでストロークの精度を強化。
あえて、本番で試すのがミソ

2011年マイナビ
ABCで使用

オデッセイ プロトタイプ ツアーシリーズ#9

やっぱり
L字マレットが好み?

エースのL字をベースにつかまりなどを微調整。
よりオートマッチクさを狙った変更か



2011年セガサミーで使用

オデッセイ ブラック シリーズIX#9

もっとも信頼する
エースパター!?

プロ転向後の08年から、もっ
とも長く使用するパター。エ
ースの位置づけ



「パットラボ」でこのコメントを分析してみた!

【L字】

トゥ側に 当たると 5.6度 オープン	ヒール側に 当たると 1.2度 オープン
------------------------------	-------------------------------



【センターシャフト】

トゥ側に 当たると 9.3度 オープン	ヒール側に 当たると 11.6度 クローズ
------------------------------	--------------------------------

L字とセンターシャフト
で、わざと芯を外して
打つとL字のほうがフェースの向きが変わる度合
いが少なく、特にヒール側の打点に強い。センタ
ーシャフトはミスに対して厳しい

「L字は打点のブレに強いから
いつの間にか葉をしてみよう。
センターシャフトで
インパクトのズレを
調整しているんです」石川遼

「エースはセンター
シャフトですが
練習の時はピンタイプを
使っています」

HC4 大倉 勇

センターシャフトは手を殺して
打つが、慣れすぎると操作感
が鈍くなり、手を殺す感覚もわ
からなくなる。時々、練習でピ
ン型を打つと手の感覚が戻る。
遼はその反対では?

「僕の3番手は
センターシャフト。
違うタイプのパターは
持っておくといいですよ」

HC1.8 堀内 健

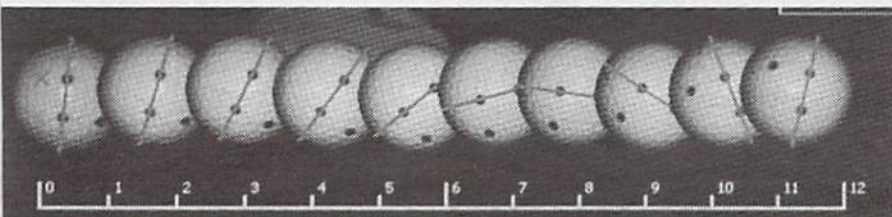
センターシャフトは、シャフトの
延長線上に 스위트スポット
があって、手元と芯の感覚がイ
コール。シンプルに手の感覚
が出せるので、気分転換には
最適だと思う

しているということ。
実は、このフイーリングの
違うパターの「2本使い」、
上級者の間では、なかば「常
識」でもある。練習では、エ
ースパターと重さや形が全然
違うパターを使うとか、ある
いは、いちばん信頼のおける
エースパターは1本残してお
いて、どんどん新しいパター
を試してみる、という人はか
なり多い。そうすることで、
自分のストロークの好不調や、
知らずについてしまったクセ
を発見でき、パットの
感覚がいつでもフレッ
シュになるのだ。これ
は使えるゾ!

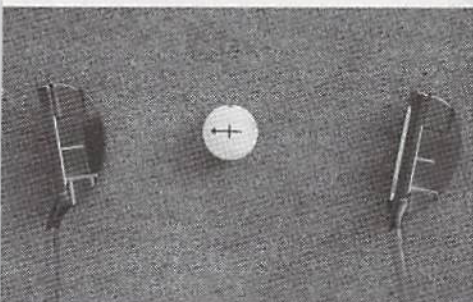
※数値には軌道の
修正分を含んでいます

「ラインが出なくなったらL字、
芯に当たらなくなったらセンターシャフト。
この練習は効果がありますよ」

L字は順回転が早くラインが出やすい



みたらわかった
こんなに変わる



パターが勝手に
イン・トゥ・イン軌道にしてくれる

ヘッドのトゥ側が重いので、振った時にシャフトを支点にトゥが自然に戻りやすい。自分でフェースを開閉すると、やりすぎになって引っかけやすい。つかまるので順回転が早くかかる



パターの「2本使い」、ホイーントは、できるだけ機能差の大きいものを使うということ。東京・恵比寿にある、パター専門のレッス

ン施設、「パットラボ」でヘッドプロを務める、大本研太郎^{プロ}によると、「パター自体が持っている機能によって、自分では何も変えなくてもストロークが変わる」のだという。たとえば、「一般的に、L字はフェースを開閉して打つ、

つかまりのよさが身上だが、慣れると過剰に手を使いやすいので、フェースの開閉を抑える練習をするとい

センターシャフトは真つすぐ引いて真つすぐ出して打つ、と言われていますが、それを自分でやっ

てしまうとやっつきすぎるので、これを利用すれば、パターを変えて練習するだけで、ストロークの修正ができる。仮に、今、センターシャフトのパターをエースとして使っているとすると、センターシャフトは、見た目の形状から、ボールを前（左足寄り）に置きたくなるので、

ボールをもっと
つかまえない

距離感を変えずに
フェースの開閉を
抑えたい

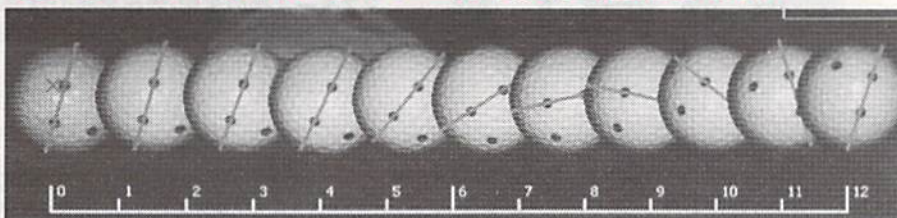
どうしても押し出すミスが多くなる。そこで、きちんとつかまえて打つ感覚を養うために、フ



大本研太郎^{プロ}

パットラボ恵比寿スタジオヘッドプロ。データ分析に基づいたパッティングレッスンをを行う

センターシャフトはキャリーが長く直進性が高い

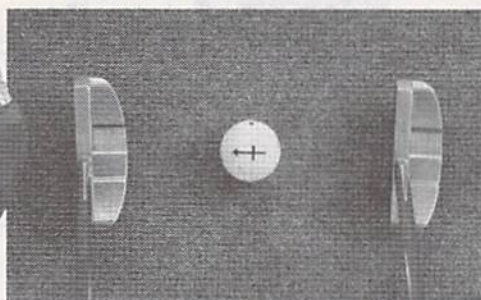


されるというわけだ。
逆に、L字がエースなら、い
ばん怖いのは引っかけ。手を使い
すぎたり、ヒール側に芯を外した
りするのの原因だが、自然にフェ
ース面を真っすぐ使えるセンター
シャフトで練習すると、そのクセ
が直る可能性がある。

エースが自然に返
りやすいL字を使
って練習すると、
ストロークが修正



データを計測して 同じ打ち方でも軌道は



パターが勝手に ストレート軌道にしてくれる

シャフトの延長線上に重心があるので、振り子の要
領で自然にストレートな軌道で振りやすい。打点の
安定している人でないとミスしやすい。最初にボン
と飛び出て、その後自然に転がる

また、2つを使い分けることで、
手の感覚をどのくらい使って打つ
かを調整して、タッチを養うこと
もできるという。
「L字などフェースの開閉を使う
タイプは、ボールに順回転がかか
るタイミングが早く、ラインに自
分で乗せる感覚があります。セン
ターシャフトは、最初のスキップ
の時間が長く、勝手に真っすぐ転
がってくれる感じが強い。もっと
自分の感覚を生かしたいならL字、

ヒールに外す人の トウで打つ練習

トウとヒール、どちらにミ
スしやすいかまず見極
める。どのくらいつかまり
をプラスするかによって
ピン型かL字を選択

センター シャフト

フェースの開閉を
とにかく止めたい

引っかけの
ミスを抑えたい

結論

パターを変えて
練習すると
不調知らずの
パットができるぞ！

トウに外す人の ヒールで 打つ練習

ピン型はちょうど中間タ
イプなので、これで引
かけるならセンターシャ
フト、プッシュするならL
字でつかまりを修正

ピン タイプ

逆に感覚を殺し
て機械的に打ち
たいならセンタ
ーシャフトで練
習するというのもアリです」と、
大本邦。

実は、同じパターを使い続けて
いると、自分のミスに気づかない
ことがよくある。たとえばフェ
ースを開いて当てるクセがあっても、

無意識に軌道をカットにすること
で相殺し、真っすぐ打っている場
合がプロでもあるのだ。これだと、
平常時とはともかく、プレッシャー
がかかると引っかけやすい。そう
いう意味でも、パターの「2本使
い」は、最強の練習ツールとなり
得る。パターがエースの1本だけ
という人、今すぐ練習用の2本目
を探してみませんか。